

公益社団法人砥粒加工学会 関西地区部会報告

令和7年度(2025年度) 第3回研究・見学会を終えて

～総合工作機械メーカーのニデックマシンツール株式会社～

1. はじめに

令和7年(2025年)11月13日(木)に、令和7年度関西地区部会の第3回研究見学会がニデックマシンツール(株)本社工場(滋賀県栗東市)で開催されました。当日は55名の参加者の下で開催されました。以下に概要を報告いたします。

2. 見学会

関西地区部会幹事の村田順二氏(立命館大学)の進行により、定刻通りに開始されました。はじめに地区部会を代表して古城直道 関西地区部会長(関西大学)より開会の挨拶が行われました。

まず、ニデックマシンツール(株)田中俊一氏より、工作機械の変遷を交えながら、同社の沿革および事業内容についてご説明いただきました。

続いて行われた工場見学では、参加人数が多かったため、3班に分かれて各工程の説明を受けました。ホブ盤や歯車研削盤などの歯車加工機、門形五面加工機、横中ぐりフライス盤といった大型工作機械の製造工程を見学しました。

また、実際の加工デモを多数披露していただきました。大型NC旋盤では重切削の様子を、歯車加工ではEV製品を対象とした最新の加工技術を紹介いただき、実際の加工の様子も見学しました。参加者は精緻な加工の様子を目の当たりにし、驚きの声が上がりました。

さらに、新たな分野のものづくりとして、金属3Dプリンタについて、同社が装置を自社設計・開発し、自動車・航空機などの産業向けに展開されていることの紹介がありました。

グループ間の垣根を超えた工作機械づくりの理念や、設備のレトロフィットによる環境負荷低減と、SDGsへの貢献についても確認することができました。

見学を通じて、参加者は最新の工作機械技術や歯車加工の高度化に関する理解を深めることができました。

3. 講演会

見学会終了後、ニデックマシンツール(株) CTO 濱中憲二氏より、「航空・宇宙産業用機械のご紹介」と題したご講演を賜りました。講演では、航空機部品の製造に関する高度な加工・組立技術を中心に、通常目にする機会の少ない専門的かつ先進的な技術について、具体的な事例を交えながらご説明いただきました。航空・宇宙分野における工作機械の役割と技術的課題、そしてそれに対するニデックグループの取り組みを通じて、参加者にとって、新たな知見と刺激を得る貴重な機会となりました。

講演後には活発な質疑応答が行われ、盛況のうちに閉会となりました。



ニデックマシンツール(株) 田中俊一氏



ニデックマシンツール(株) 濱中憲二氏



工場見学の様子

4. おわりに

末筆になりましたが、今回の研究・見学会開催にあたり、多大なるご支援、ご協力をいただきましたニデックマシンツール(株)の皆様にご心より御礼申し上げます。関西地区部会では、今後も会員の皆様に興味を持っていただける技術交流の機会を設けてまいります。次回以降もぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

(文責: 大久保直哉)